

公益社団法人 日本水産学会
令和 6 年度第 4 回理事会議事録

1 開催された日時 令和 6 年 7 月 27 日（土）13 時 00 分～16 時 19 分

2 開催された場所 日本水産学会事務局（東京都港区港南 4-5-7）

3 理事総数及び定足数

総数 17 名、定足数 9 名

4 出席理事総数 16 名

（Web 会議システムによる出席）

東海 正、大越和加、征矢野 清、吉崎悟朗、河村知彦、片山知史、
阪倉良孝、栗田 豊、岡田 茂、大久保範聰、都木靖彰、平井俊朗、
生田和正、河村功一、足立真佐雄、荒川 修

5 出席監事

（Web 会議システムによる出席）

佐藤秀一、野澤知世

6 出席幹事

（Web 会議システムによる出席）

二羽恭介、山本洋嗣、森田哲朗、寺原 猛

7 議 案

決議事項

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 第 1 号議案 | 「令和 6 年度支部交付金の配分額」の件 |
| 第 2 号議案 | 「大会規程の一部改正」の件 |
| 第 3 号議案 | 「大会運営規程の一部改正」の件 |
| 第 4 号議案 | 「研究成果オープンアクセス化への対応特別委員会の設置」の件 |
| 第 5 号議案 | 「法人の体制見直し（仮称）特別委員会の設置」の件 |
| 第 6 号議案 | 「日本水産学会創立 100 周年記念事業」の件 |
| 第 7 号議案 | 「名誉会員橋本周久氏の追悼文掲載」の件 |
| 第 8 号議案 | 「令和 7 年度春季大会の委員長」の件 |
| 第 9 号議案 | 「令和 7 年度秋季大会の開催日程、場所及び委員長」の件 |
| 第 10 号議案 | 「令和 8 年度春季及び秋季大会の担当支部」の件 |
| 第 11 号議案 | 「第 23 回日本農学進歩賞の推薦」の件 |
| 第 12 号議案 | 「科学研究費助成事業の全体額増額に関する要望書及び署名サ
イト」の件 |
| 第 13 号議案 | 「水産庁「さかなの日」賛同メンバー」の件 |
| 第 14 号議案 | 「協賛及び後援」の件 |
| 第 15 号議案 | 「入会承認」の件 |

報告事項

- ① 第 3 回理事会以降の職務遂行の状況

② その他確認事項

8 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

東海会長が定足数の充足及びWeb会議用装置からなるWeb会議システムにより、出席者の音声、映像が同時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、東海会長が議長となり、本会議の成立及びWeb会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第1号議案 「令和6年度支部交付金の配分額」の件

河村(知)財務担当理事から原案について以下の説明があった。令和6年度支部交付金の配分額は次のとおりとする。ただし、北海道支部、東北支部、関東支部、中部支部、中国・四国支部については、令和5年度正味財産期末残高が令和5年度支部交付金配分額を超過していたため、超過金額を差し引いて振り込むこととする。

北海道支部	¥357,700
東北支部	¥331,100
関東支部	¥538,500
中部支部	¥377,400
近畿支部	¥350,200
中国・四国支部	¥366,100
九州支部	¥379,000

審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第2号議案 「大会規程の一部改正」の件（別紙1）

吉崎総務担当理事から原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第3号議案 「大会運営規程の一部改正」の件（別紙2）

吉崎総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。本件について以下の質疑応答があった。

岡田理事 「座長を前の発表者が行うことは、実行委員会の省力化になっている点は理解できる。しかし昔は、座長は学位を持っている方がやるものとの考え方であったと思われることから、学生が座長をつとめることについては一定のルールが必要ではないか。」

東海会長 「座長は発表者および共著者がやってよいことになっている。指導教員が教育的立場から、学生に座長をやらせるという場合があるとも認識している。ルールづくりが必要かどうか、今後検討したい。」

第4号議案 「研究成果オープンアクセス化への対応特別委員会の設置」の件

東海会長から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の

通り可決した。また、委員の構成についても、以下の通り出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

編集担当理事 岡田 茂、都木靖彰、編集委員長 松石 隆及び編集委員長が指名する編集委員数名、

総務担当理事 片山知史、総務幹事 二羽恭介、

財務理事 河村知彦、大久保範聰、会計幹事 寺原 猛、

英文書籍監修担当理事 阪倉良孝

第 5 号議案 「法人の体制見直し（仮称）特別委員会の設置」の件

東海会長から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。また、委員の構成についても、以下の通り出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

副会長 征矢野 清、総務理事 吉崎悟朗、片山知史、総務幹事 二羽恭介、庶務幹事 高橋希元、山本洋嗣

第 6 号議案 「日本水産学会創立 100 周年記念事業」の件

吉崎総務担当理事から原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り、日本水産学会創立 100 周年記念事業を 2031 年度あるいは 2032 年度に実施することを可決した。また、具体については今後、創立 100 周年記念事業委員会を立ち上げて検討するものとし、特に世界水産学会議 WFC2032 の誘致については国際交流委員会に諮問することとした。

第 7 号議案 「名誉会員橋本周久氏の追悼文掲載」の件

吉崎総務担当理事から原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り、執筆者を渡部終五会員として掲載することを可決した。

第 8 号議案 「令和 7 年度春季大会の委員長」の件

吉崎総務理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の通り可決した。

令和 7 年度春季大会 委員長 天野勝文（北里大学）

第 9 号議案 「令和 7 年度秋季大会の開催日程、場所及び委員長」の件

吉崎総務理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の通り可決した。

日 程 令和 7 年 9 月 24 日（水）～27 日（土）

場 所 広島大学生物生産学部（開催方法：対面）

委員長 小池一彦（広島大学）

第 10 号議案 「令和 8 年度春季及び秋季大会の担当支部」の件

吉崎総務理事から、原案の説明があった。審議の結果、原案の通り令和 8 年度春季大会は関東支部、秋季大会は中部支部が担当することを出席理事全員一致で可決した。

第 11 号議案 「第 23 回日本農学進歩賞の推薦」の件

阪倉担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。本件について以下の意見が出された。

東海会長「現在の学会賞選考委員会の申し合わせでは、過去 2 年間の水産学奨励賞の受賞者を選考対象としている。そのため今回は女性の研究者

を推薦できなかった。女性研究者奨励の意味で、学会賞選考委員会には推薦方法を今後検討してほしい。」

大越理事 「女性の参画が様々なところで目立ってきている。水産学会にとっても有益であると思われるので、賞の推薦の可能性について今後検討してほしい。」

第 12 号議案 「科学研究費助成事業の全体額増額に関する要望書及び署名サイト」の件

吉崎総務理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書（改訂版）に賛同し、署名サイトに協力することを原案の通り可決した。

第 13 号議案 「水産庁「さかなの日」賛同メンバー」の件

吉崎総務理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り、水産庁「さかなの日」賛同メンバーに申し込むことを可決した。

第 14 号議案 「協賛及び後援」の件

吉崎総務理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

① 日本化学会関東支部 2024 年度講演会「資源循環・環境に役立つ化学」

主 催 日本化学会関東支部
協 賛 日本土壌肥料学会 他 10 学協会
日 程 令和 6 年 8 月 30 日
場 所 化学会館（東京都千代田区）
希 望 協賛
負担金 なし

② 第 12 回国際水産シンポジウム（IFS2024）

主 催 東南アジア水産教育ネットワーク
協 賛 不明
日 程 令和 6 年 11 月 19 日～24 日
場 所 函館市民会館・函館アリーナ（北海道函館市）
希 望 協賛
負担金 2 万円（プログラム・ホームページ・バナー掲載）

③ 変革的技術融合による養殖業の強靭化にかかる国際会議

主 催 水産育種研究会
後 援 農林水産省
日 程 令和 6 年 10 月 28 日～30 日
場 所 東京海洋大学楽水会館（東京都港区）
希 望 後援
負担金 なし

第 15 号議案 「入会承認」の件

吉崎担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

(報告事項)

① 令和 6 年度第 3 回理事会以降の職務執行状況

・会長

東海会長から以下の報告があった。

- 1) 令和 6 年度第一回水産・海洋科学研究連絡協議会が 6 月 19 日に Web で開催された。本学会の大越副会長が議長にまたそのほか副議長と幹事が選出され、参加各学会からの情報提供の後、日本学術会議の報告および今期のシンポジウム運営体制が審議された。
- 2) 本会がサポートした学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想(いわゆるロードマップ 2023)に関連して開催される日本海洋学会 2024 年度秋季大会 OneArgo シンポジウム(2024 年 9 月 20 日)への協力依頼があったので、会長が対応することとした。
- 3) 6 月 26 日に開催された全国水産試験場長会幹事会の情報奉還会に出席した。

・庶務関係

吉崎総務担当理事から、以下の報告があった。

- 1) 会長指名理事候補者について、以下の 3 名を選出して手続きを進める。
木村 稔 元 北海道立総合研究機構水産研究本部中央水産試験場 場長
古川史也 北里大学海洋生命科学部 講師
マーシー・ニコル・ワイルダー 国際農林水産業研究センター プロジェクトリーダー
- 2) 以下の支部幹事の交代があった。
中国・四国支部 [辞任] 上 真一 [選出] 村瀬 昇
- 3) 学会賞選考委員会委員選出選挙について、支部幹事へ 8 月中に選挙依頼を発送、9 月に開票の予定である。
- 4) 令和 6 年度各種委員会委員長及び副委員長を決定した。
- 5) 学会事務職員の期末手当を職員給与規程に基づき支給した。
- 6) 内閣府への事業報告及び決算報告の提出を完了した。
- 7) 職員就業規程に基づき学会事務局は令和 6 年 8 月 14 日・15 日に夏季休業となる。
- 8) 以下の協賛について、共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ 3) を適用した。

① 2024 生態工学年次大会

主 催 生態工学会
協 賛 照明学会 他 14 団体
日 程 令和 6 年 6 月 29 日・30 日
場 所 愛媛大学農学部(愛媛県松山市)
希 望 協賛
負担金 なし

② 2024 年度日本冷凍空調学会年次大会

主 催 日本冷凍空調学会
協 賛 エネルギー・資源学会 他 34 団体

日 程 令和 6 年 9 月 6 日～8 日
場 所 九州産業大学（福岡県福岡市）
希 望 協賛
負担金 なし

③食品ハイドロコロイドセミナー2024

主 催 食品ハイドロコロイド研究会
協 賛 化学工学会 他 18 学協会
日 程 令和 6 年 10 月 7 日
場 所 東京海洋大学品川キャンパス楽水会館（東京都港区）
希 望 協賛
負担金 なし

④食品ハイドロコロイドシンポジウム 2024

主 催 食品ハイドロコロイド研究会
協 賛 化学工学会 他 18 学協会
日 程 令和 6 年 10 月 8 日
場 所 東京海洋大学品川キャンパス楽水会館（東京都港区）
希 望 協賛
負担金 なし

⑤第 31 回海洋工学シンポジウム

主 催 日本船舶海洋工学会、日本海洋工学会
協 賛 海洋音響学会他 31 団体
日 程 令和 7 年 3 月 17 日・18 日
場 所 日本大学理工学部（東京都千代田区）
希 望 協賛
負担金 なし

・企画広報関係

片山担当理事から、これまでに 2 回の委員会（5 月 9 日及び 7 月 5 日）を開催し、新しく 2 つの企画（退職された研究者からのメッセージおよび水産学会誌アクセス数ランキング）について報告があった。

・財務関係

河村(知)担当理事から、以下の報告があった。

1) 令和 6 年 6 月 24 日 會田壽美様(非会員)より寄附金 500,000 円を受け取った。

2) シュプリンガーから Fisheries Science 89 卷ロイヤリティが振り込まれた。

・編集関係

岡田担当理事から、以下の報告があった。

- 1) Fisheries Science のインパクトファクターが 1.4 に低下した。計算方法の変更やコロナ禍の影響によるものと考えられる
- 2) Fisheries Science のオープンアクセス化について検討を行い、委員長より提案書に基づき、本理事会第 4 号議案の審議を行った。
- 3) 海外 Editor について任期 6 年程度で交代を進めている。

4) Journal of Fish Biology から Editor の推薦依頼があり、東京大学の黒木真理会員の推薦が決まった。

・学会賞関係

阪倉担当理事から、日本水産学会各賞の推薦を現在募集しており、締切が 7 月 31 日である旨の報告があった。

・シンポジウム関係

征矢野担当理事から、最近シンポジウムの応募件数が少ないため、アピールする必要があるのではないかとの報告があった。

・出版関係

吉崎担当理事から、e-水産学シリーズの第 7 及び 8 巻について、出版準備が進行中である旨の報告があった。

・水産技術誌監修関係

河村(知)担当理事 特になし。

・国際交流関係

大久保担当理事から、別紙 2 に基づき以下の報告があった。

1) 海外学会への会長、副会長派遣について。

2) 海外学会の役員招待の際の旅費増額要望。本件については、以下の通り意見が出された。

東海会長 「旅費増額については、予算の都合もあるため財務検討委員会で今後検討してもらいたい。」

・水産教育関係

荒川担当理事 特になし。

・水産政策関係

栗田担当理事から、計画通り活動しており、以前のシンポジウムについて、水産学シリーズとしてまとめているとの報告があった。

・漁業・資源管理関係

栗田担当理事から、計画通り活動しており、漁業懇話会報の転載について、メール会議が開催されたとの報告があった。

・水産利用関係

岡田担当理事から、東京海洋大学で第 1 回の委員会が開催予定であるとの報告があった。

・水産増殖関係

阪倉担当理事から、秋季大会において、9 月 24 日にミニシンポジウム「関西圏の増養殖のホットトピックス」を開催予定との報告があった。

・水圈環境関係

大越担当理事から、以下の報告があった。

1) 第 1 回水産環境保全委員会が 3 月 27 日に開催された。

2) 令和 6 年度秋季大会において水産環境保全委員会企画研究会を開催予定。

・男女共同参画関係

大越担当理事から、秋季大会にてランチョンセミナーを開催する旨の報告があった。

- ・水産学若手の会関係

大久保担当理事から、以下の報告があった。

- 1) 若手研究者の国際学会の参加支援の募集を開始した。
- 2) 秋季大会にて、例年通り若手の会のシンポジウム、ナイトポスターセッション、学部学生無料化企画を行う。

本件について以下の通り、意見が出された。

東海会長「若手研究者の国際学会の参加支援について、恒常的な取り組みとしてこの支援を行っていくのであれば、公益目的事業として申し合せと選考基準をしっかりと検討してほしい。」

- ・社会連携関係

東海会長から、全国水産試験場長会との連携および水産庁「さかなの日」への賛同について報告があった。

- ・将来計画関係

征矢野担当理事 特になし。

- ・北海道支部、地域連携関係

都木担当理事から、6月4日に今年の活動予定を確認した旨の報告があった。

- ・東北支部、地域連携関係

平井担当理事から、10月19日・20日に秋田県にて支部大会の開催を予定している旨の報告があった。

- ・関東支部、地域連携関係

生田担当理事から、来年度の春季大会について、北里大学での開催が決まった旨の報告があった。

- ・中部支部、地域連携関係

河村(功)担当理事から、12月14日に支部大会およびシンポジウムを三重大学にて開催する予定である旨の報告があった。

- ・近畿支部、地域連携関係

東海会長 特になし。

- ・中国・四国支部、地域連携関係

足立担当理事から、来年度(令和7年度)秋季大会を広島大学にて開催が決定したこと、また令和6年度支部大会を11月30日・12月1日に高知大学にて開催するとの報告があった。

- ・九州支部、地域連携関係

荒川担当理事から、今年度の支部大会を12月14・15日に長崎大学で開催予定である旨の報告があった。

- ・英文書籍監修委員会(特別委員会)

阪倉担当理事から、2件の企画が進行中との報告があった。本件について以下の通り意見が出された。

吉崎理事「これまで出版された4冊は生物系なので、化学系や食品関係について是非企画をあげてほしい。」

- ・財務検討委員会(特別委員会)

河村(知)担当理事 特になし。

② その他確認事項

(1) 令和 6 年度理事会開催日程

東海会長および吉崎総務担当理事から、理事会開催日程の説明があった。

(2) 令和 6 年度決算処理日

吉崎総務担当理事から、令和 6 年度事業計画・予算書及び事業報告・決算報告の提出日程の説明があった。

以上をもって Web 会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、16 時 19 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和 6 年 7 月 27 日

公益社団法人 日本水産学会
議長 会長（代表理事）

監事

監事